

蛍光観察

① 水銀ランプの電源ON (赤→)  
 (光源が安定するまで15分くらいかかります)  
 水銀ランプは1度電源を落とすと20分は再点灯できません。

\* カウンター(黄→)が200.0hrsを超えて照明がちらつきだしたら水銀ランプを交換して下さい。



② 蛍光フィルターを選択する (ターレットを回転させ赤→に選択するフィルターの番号を入れる)

- 1 BF 蛍光観察以外 (明視野/微分干涉)
- 2 WU BLUE 蛍光 (DAPI, ヘキスト等)
- 3 NIBA GREEN 蛍光 (FITC, GFP等)
- 4 WIB GREENとREDの同時観察用 (FITC+ローダミン等)
- 5 WIG RED 蛍光 (PI/ローダミン 等)

- 6 U/B/G BLUE 蛍光, GREEN 蛍光と RED 蛍光の同時観察用 (DAPI+FITC+ローダミン 等)

観察しないときはシャッター(黄色→)を閉じる



③ 微分干涉用のプリズムを光路からはずす。  
 (光路に入っていると蛍光の励起光が弱くなる)

緑→のネジを緩めてプリズムを赤→方向へ引っ張り出してカチッと止まるところで緑→のネジで固定する。



④ アナライザー(微分干渉観察用の偏光板)を光路からはずす。  
 (光路に入っていると蛍光の励起光が弱くなる)

アナライザーを赤→方向へ引っ張り出して途中でカチッと止まるところで止める



⑤ 蛍光が強すぎる場合はNDフィルター(減光フィルター)赤→を押し込んで励起光を弱める



⑥ 多重染色標本 (DAPI+FITC+ローダミン等)のそれぞれの蛍光の強さのバランスをとる励起光バランス機能を使う場合

蛍光フィルターの6(U/B/G)を選択する(上記 ② 参照)

励起光バランスの棒 AとBを押し込んで光路に入れ、それぞれのバーを赤→のように立てたり、寝かしたりして蛍光のバランスを調整する。

